

一般質問日程 12月11日(木)

令和7年12月定例会

発言順序	議席番号	発言者氏名	質問事項
1	17	生井一郎	<p>1. ガソリン暫定税率廃止と市の対応について (1) 市の財政への影響について 税収減を穴埋めする代替財源が不明の中、どの様な影響があるのか伺う。</p> <p>2. 教育行政全般について (1) 小中学校の校庭について 校庭の維持管理、特に雑草などの対応など、課題はないのか伺う。 (2) 夏・冬休みの宿題について 長期の休み期間における宿題の現状、目的と課題について伺う。 (3) 不登校児童生徒の現状と対策について 市内の不登校児童生徒の現状と対策について又今後の考え方を伺う。 (4) 教育長が思う郷土愛について 教育長が考える郷土愛とは又どう子供達に教えていくべきか伺う。</p> <p>3. 市制施行20周年記念事業について (1) 20周年記念事業について 来年3月20日は合併20年を迎える節目の年である。そして新たなスタートを切る年でもあり、どのような事業を考えているのか伺う。</p> <p>4. 国道文挟バイパス建設について (1) 国道文挟バイパス建設の現状について 平成30年9月に整備方針が地元住民説明会で示されました。 当時早ければ5~10年で完成予定(第一工区)の説明でもあり、現在の進捗状況及び課題・問題点等があれば伺う。</p>

一般質問日程 12月11日（木）

令和7年12月定例会

発言順序	議席番号	発言者氏名	質問事項
2	6	山越享太郎	<p>1. 文化・芸術について (1) 文化・芸術について 文化庁は、文化芸術関連データ集を公表しています。令和7年1月に公表された資料には主な施策群として「コロナ禍からの復興と文化芸術水準の向上等」などがあります。</p> <p>日光市は、今市・日光・藤原・足尾・栗山の各地区で文化祭を行っています。今市地域では、今年は11月1・2日にニコニコ本陣のホールを利用してステージ発表が行われました。</p> <p>文化・芸術について日光市は力を入れていると思われますが、現状と課題についてお伺いいたします。</p> <p>2. こどもの居場所・遊び場について (1) 室内の遊び場について キッズユースランド日光今市店が2024年10月に閉店になり、幼児～小学生までが室内で遊べる場所が一部を除き日光市には無くなってしまいました。お盆やお正月に帰省してきた子育て世帯、現在日光市に家を建て住んでいる子育て世帯、親と同居し、家を建てようとしている子育て世帯の方々から、室内のこどもの遊び場についての要望が多く寄せられています。</p> <p>日光市の現状と課題についてお伺いいたします。</p>
3	20	嶋田正法	<p>1. 体育館の暑さ対策について (1) スポットクーラーの検証について 近年の猛暑は厳しさを増しており、体育館内は運動に適さないほどの高温となる日が多く見受けられます。児童生徒はもちろん、地域の皆さまが利用される際にも、熱中症の危険と隣り合わせの状況であり、本市ではスポットクーラーを導入し、運用を開始されています。</p> <p>そこで、導入状況の詳細と、今夏の運用を通じて確</p>

一般質問日程 12月11日(木)

令和7年12月定例会

3 20	嶋田正法	<p>認された効果について、どのように評価されているのか伺います。</p> <p>2. 学習用タブレットの健全な利用環境の確立について (1) 学習用タブレットの利用ルールについて</p> <p>本市では、GIGAスクール構想のもと、児童生徒一人ひとりに学習用タブレットが整備され、ICTを活用した学びが大きく進展しております。タブレットの導入は、学習の幅を広げ、子どもたちの可能性を伸ばすうえで非常に重要な取組であります。</p> <p>一方で近年、目的外利用が増加し、保護者からは「ゲームや動画視聴で夜遅くまで使用してしまう」「家庭だけでは管理しきれない」といった切実な声が寄せられております。こうした状況は、学習への集中を妨げるだけでなく、生活リズムの乱れや睡眠不足を招くおそれがあり、子どもの健康面への影響も懸念されるところです。</p> <p>そこで、学習用タブレットの利用ルールについて、本市は児童および保護者に対し、どのような方法で周知しているのか。また、その周知内容や、学校間での対応のばらつきを防ぐための統一的な指針は、どのように整理されているのか、伺います。</p> <p>3. 地域防犯力向上に向けた取組について (1) 犯罪発生状況の現状分析と課題認識について</p> <p>近年、全国的に犯罪の手口は多様化・巧妙化しており、自治体にはこれまで以上に迅速かつ的確な防犯対策が求められています。日光市においても、空き巣や特殊詐欺被害、さらには不法投棄や深夜の迷惑行為など、地域の安心を揺るがす事案が散見され、市民の皆様からも不安の声が寄せられております。</p> <p>そこで、本市の犯罪発生状況の現状分析と課題認識についてどのように考えているか伺います。</p>
---------	------	---

一般質問日程 12月11日(木)

令和7年12月定例会

発言順序	議席番号	発言者氏名	質問事項
4	9	高見尚希	<p>1. こどもの居場所づくり推進事業について (1) こどもの居場所、こどもの居場所づくりの現状と課題について こどもの居場所については、どのような考えのもとで事業を行い、現状がなされてきたのか。また、当市のこどもの居場所、こどもの居場所づくりの課題について伺います。 (2) こどもの居場所づくり支援体制強化事業等の活用について こどもの視点に立った多様な居場所づくりが行われるよう、国は、「こどもの居場所づくりに関する指針」に基づく取組に対して、令和6年度から令和8年度の3年間、集中的に支援強化を行う「こどもの居場所づくり支援体制強化事業」を推進しています。当事業の令和6年度からの日光市の活用状況を伺います。 また、「こどもの居場所づくりコーディネーター配置等支援事業」との事業もあり、コーディネーターについて配置する意向があるのか、これらの事業を活かし、当市のこどもの居場所づくりがどのように推進されていくのか伺います。</p> <p>2. 学校給食費（保護者負担）について (1) 学校給食費の見直しについて 今年度は、子育て支援、物価高対策の二重支援があり、学校給食費の保護者負担は、0円となっています。日光市では、学校給食費を月額で、小学校4,700円、中学校5,400円と定め、基本的に学校給食費から食材を調達し、給食が提供されます。市は、さらなる物価高、米価高騰によって、4,700円、5,400円を超える材料費負担をしているようありますので、現在の物価高、米価高騰の社会情勢のなかで、適正な学校給食費の試算は、どのようになるのか伺います。 (2) 令和8年度の給食費の補助、無償化について</p>

一般質問日程 12月11日（木）

令和7年12月定例会

発言順序	議席番号	発言者氏名	質問事項
4	9	高見尚希	<p>令和7年度については、平成25年度より子育て支援の補助事業に加え、国の物価高騰対応重点支援地方創生金や日光応援寄附金を活用し、学校給食費（保護者負担）の全額補助を行っています。</p> <p>国の子育て支援に関する予算の動向によるところがあると思いますが、令和8年度の補助をどのようにされるのか、伺います。</p>
5	14	斎藤伸幸	<p>1. 日光市の農業について</p> <p>(1) 加工用米（もち米）の現状について</p> <p>令和6年の9月定例会で、農業関係の質問を2項目いたしました。それから1年が経過し稻作農家を取り巻く状況が大きく変わりました。前回の質問で稻作は本市の基幹作物と位置付け、強く支援していくべきではないかと伺い、その中で、特に支援をしている主な3事業を挙げて説明をいただきました。その中の1つに挙げられた加工用米（もち米）の現状について3点伺います。</p> <p>①栽培農家数と作付面積の推移と農家の評価について</p> <p>②3年間は限定で補助金があったが、今年度は計上されていない。現状はどのような支援をしているのか。</p> <p>③実需者の目標はどの位の量が必要なのか。またそれに対応できる面積はどの位なのか。</p> <p>(2) 農地バンクの現状について</p> <p>農地の集約が進んできていますが、本市の状況はまだまだの現状です。特に、中山間地域においては集約が進まず非効率的な経営を強いられています。また、平地においても、ほ場整備の遅れなどから進まず、厳しい経営が続いています。中山間地域は全国で、耕地面積の約4割、総農家数の約4割を占めていると言われており、日本の農業において重要な役割を担っています。</p> <p>そこで、耕作困難な農地を有効活用するために農地</p>

一般質問日程 12月11日（木）

令和7年12月定例会

発言順序	議席番号	発言者氏名	質問事項
5	14	斎藤伸幸	<p>の貸し借りを仲介する制度で、農地中間管理機構が間に入る農地バンクがあります。2点について伺います。</p> <p>①現状と課題について ②今後の取組について</p> <p>2. 空き家対策について</p> <p>(1) 空き家対策について</p> <p>「第2次日光市空家等対策計画」が令和5年2月に制定されました。その冒頭で、「使用されていない空家等が増加しています。これらの空家等の中には、適正な管理が行われず、倒壊のおそれや、公衆衛生の悪化、景観の阻害などの問題を抱えるものがあり、空家等の増加に伴い、今後より一層問題が深刻化することが懸念されます。」とあります。</p> <p>当市では、平成26年に「日光市空家等の適正管理に関する条例」を制定し、空家等の対策にかかる社会情勢の変化を踏まえ、その対策の基本方針を示し、所有者等や市民、民間事業者と連携をとって、より快適に暮らせるまちづくりを進めるため、問題の解決に取り組んできたと思います。</p> <p>ここで、3点について伺います。</p> <p>①空き家の現状について ②情報の収集や調査の体制について ③地域とのかかわりについて</p>